

## 患者さんのために、社会のために 情報の質を高めて 医療の質の向上に貢献



診療内容や、検査・診断の結果、処方薬などさまざまな情報が詰まっているのがカルテ。患者さんにとっても病院にとっても非常に大切なこれらの情報について、監査や管理を行っているのが診療情報管理室です。

以前は紙に書かれていたカルテですが、パソコンなどを用いて記録することで、電子的なデータとして保存できるようになりました。兵庫医科大学病院では2013年に電子カルテを導入。それによりさまざまなメリットが得られています。

### 電子カルテの導入による変化

2013年まで

#### 紙のカルテ

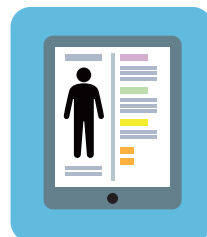
- ・手書きの文字が読みにくい
- ・持ち出している人がいるとほかの人は見られない など



2013年以降

#### 電子カルテ導入

- ◎読みやすい  
⇒読み間違いなどが起こりにくい
- ◎複数の場所・人で同時に  
見ることができる  
⇒情報共有がしやすい  
⇒チーム医療が活性化
- ◎データの二次利用がしやすい  
⇒研究などに役立つ など



診療情報管理士や医療クオリティマネージャーといった有資格者を含め、現在12名のスタッフが在籍しています。

### 患者さんとお会いすることはありません こんな業務で診療を支えています

#### 1 電子カルテ記録の精度管理

カルテがきちんと記載されているかの監査、記載に関する基準の作成やその周知を行っています。

#### 2 クリニカルパスの管理

作成されたクリニカルパスの審査など、クリニカルパス運用の支援を行っています。



#### クリニカルパスとは

入院中の予定をスケジュール表のようにまとめた計画書のこと

#### 3 入院患者情報分析

当院の機能や診療の質を示す指標（クオリティ・インディケーター）の作成・公表をしています。

⇒詳細については次ページをご覧ください。

#### 4 診療情報の抽出

さまざまな切り口でデータの抽出を行い、それを提供して、研究などの支援をしています。

#### 5 カルテ開示

患者さんなどからのご依頼により、カルテを開示しています。

#### 6 紙カルテおよびX線フィルム等の保管・管理

電子カルテ導入以前の紙カルテや資料等の保管・貸し出しなどを行っています。

#### 7 中央スキャン業務

同意書や紹介状など、紙の資料をスキャンして電子カルテへ取り込んでいます。





## 今だけでなく、未来の医療のためにも

電子カルテに記録されている情報は、患者さんにとってだけでなく、病院にとっても、また研究や学生の教育においても、大変重要なものです。いわば貴重な財産である診療記録の精度を高く保つには、こういった診療内容をどのように記録すべきなのかといったルールが必要になります。そのルールを作ること、作ったルールをカルテの記録をする方々に知ってもらうこと、そして、ルールが守られているかをチェックすることが、診療情報管理室の柱となる仕事です。

しっかりとした基準のもとで記録され保存された情報は、院内や研究において活用することができ、今後の医療の質向上にもつながるものです。未来の患者さんの役に立つためにも、スタッフ全員がプライドを持って臨んでいます。

室長 さわい ひであき 澤井 英明

## 医療の質を示す統計資料を公表しています

医療の質を示す指標は「クオリティ・インディケーター」と呼ばれ、患者さんに病院について知っていただく上でも重要なものです。それらの統計資料も、診療情報管理室で作成しています。

「クオリティ・インディケーター」は、兵庫医科大学病院のWEBサイトおよび当院の通院支援アプリからご覧いただけます。

[https://www.hosp.hyo-med.ac.jp/about/statistics/quality\\_indicator/](https://www.hosp.hyo-med.ac.jp/about/statistics/quality_indicator/)



「クリニカルパス」も当院WEBサイトからご覧いただけます。安心して入院生活を送るためにご活用ください。

[https://www.hosp.hyo-med.ac.jp/activity/clinical\\_pathway/](https://www.hosp.hyo-med.ac.jp/activity/clinical_pathway/)

